

PART

1



幼少期

巴菲特の
生まれた環境と
早熟なビジネスの才能



「私は小さな雪の玉を
ずいぶん若いころに転がし始めた。
10年遅ければ、今の私はなかつた」

2004年

『スノーボール』第64章の一文

幼いころからビジネスを始めていた

地位は築けなかつただろうと語る。

というのも、彼が今日億万長者となつたのは20
30代のビジネスがきっかけだが、その土台は10代の
ころのビジネスや投資で築いたからである。もし、
10代での経験がなければ、億万長者どころか、投資
家としての成功もなかつたかもしれない。

投資家として次々にビジネスを成功させ、今では
莫大な資産を築いたバフェット。その成功の陰には
10代からの資産の積み重ねがあつた。アリス・シュー
ローダーの『スノーボール』において、バフェット
はこの積み重ねを雪の玉を転がして大きくすること
にたとえ、もし転がすのがあと10年遅ければ、今の
幼いころからビジネスの世界へと足を踏み入れる。

幼少期

1930-1940



ビジネスといつても、はじめは祖父の雑貨店で仕入れたチューインガムやコカ・コーラの訪問販売という単純なものだった。やがて使用済みゴルフボールやポップコーンの販売も始めると、11歳で貯金額は120ドル（現在の価値で約2140ドル。日本円で22万5000円）にも上った。また、株にも興味があつたバフェットは、このころに姉・ドリスとはじめての株式投資を経験。このとき得た3つの教訓は、彼が生涯を通じて貫く重要なものである。

若いうちに雪の玉を転がし始める

このようにバフェットは、10代すでに多くのビジネスによって成功し、小さな雪の玉をつくついた。そしてそれは、その後のビジネスで次第に大きくなつていったのだ。

彼は後年、次のように語っている。「大事なのはゲームの先を行くことだ。何も大がかりである必要はないが、ゲームの後についていくよりはずつとい

い」。この「ゲーム」とは彼がときどき口にする言葉で、経済学でよく用いられている概念である。簡単にいえば、社会で暮らす人々が自分たちの利得を求めて、互いに依存しながら意思決定をする際の駆け引きのことだ。

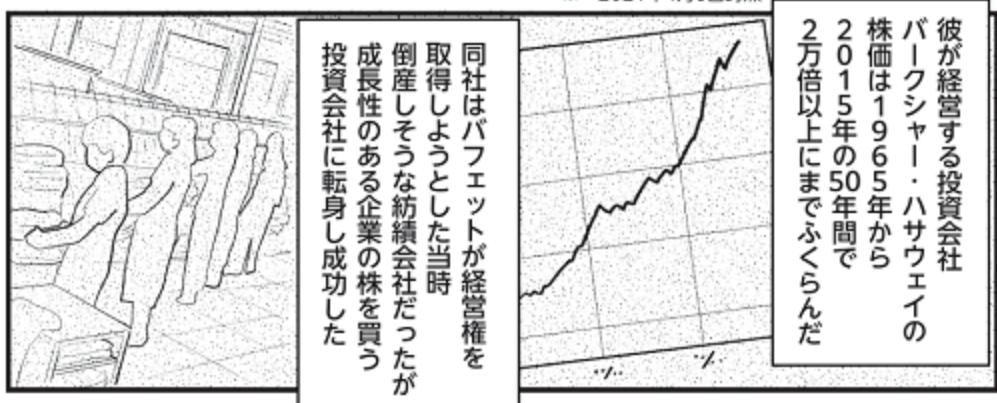
ビジネスの成功者であるためには、常にこの駆け引きの先を行かなくてはいけない。誰かが動き始める前に動かなければならない。その意味でバフェットは、小さなことでもできるだけ早くから始めるとの重要性を説いている。

また、バフェットは「ちょうどよい具合の雪があれば雪の玉はすぐに大きくなる。しかし、そのためには時間をかけなければならないし、雪がたくさんくつつくにはそれなりの人物にならなければならぬ」ともつていて。雪の玉を大きくするには、長い時間をかけて試行錯誤し、多くの経験を積んで成長しなければならない。若いうちに雪の玉を転がし始め、やがて成功を収めたバフェットだからこそその言葉である。

ウォーレン・バフェット



※ 2021年4月6日時点



1930年8月30日

アメリカ・ネブラスカ州の
オマハという田舎町



父ハワードと母レイラの間に
ウォーレン・バフェットは生まれた

当時、株のブローカーを
務めていたハワードも
この世界恐慌の煽りを受け
職も貯金も失ってしまう

大恐慌は5年以上に
わたって続いた



バフェットが生まれた前年の1929年
世界はウォール街の大暴落をきっかけに
史上最大規模の大恐慌に見舞われた



レイラは専業主婦であり収入の
あてはなく、幼いバフェットと
姉、両親は貧しい生活を強いられた



それでもハワードはたくましかつた

1931年
証券会社バフェット・フォーク設立

2人で証券会社を立ち上げよう！



安全な証券だけを
売ればきっと
成功する！

友人
カール・フォーク

以後4期にわたり議員を務めた

下院議員に
立候補するぞ！

1942年
下院議員選挙当選



ハワードは評決の際はいつも
少数派になるような人だったが
それでも落胆したり自身の
態度を曲げたりすることではなく
いつでも快活であった

「スノーボール」

人生をどう
生きるべきかは
父に教わった

この生き方はバフェットに
大きな影響を与えていた



昨日の競馬の3番レースは
4-6-2だったよな

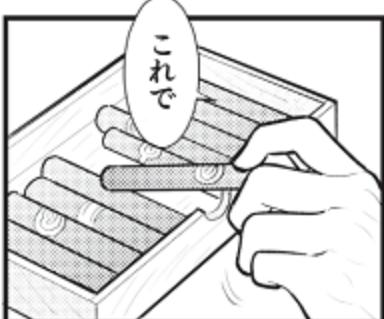
TOKYO
東京は730万人
ロンドンは860万人
ニューヨークは
740万人…

小さいところから数字や
勝負事が好きで世界中の都市の
人口、競馬や野球の試合結果を
暗記して周囲を驚かせていた

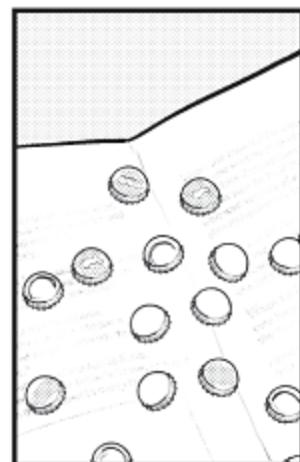
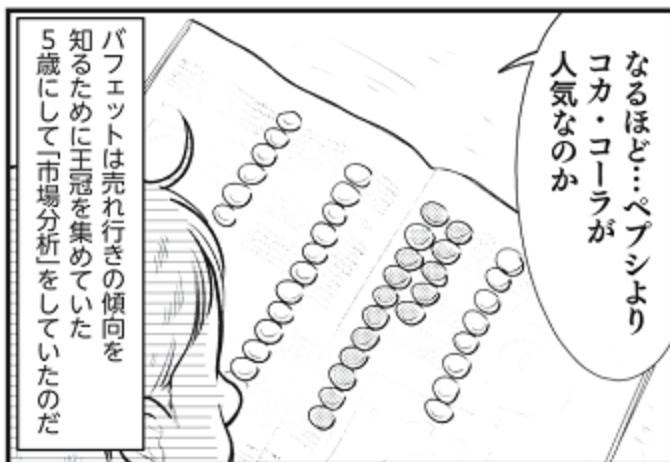


バフェットが10歳のころ…

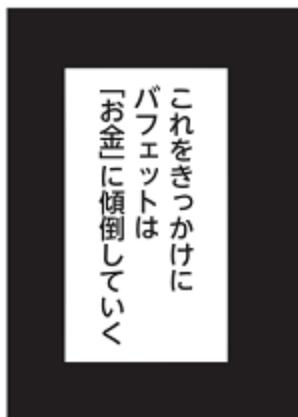
ウォーリー
東海岸まで
旅行に行こうか



「世界一の投資家」の上鱗は
早くから芽を出していた



6歳となつたある日



バフェットはしたたかだった



チューインガムが
成果を上げると
コカ・コーラの販売にも
乗り出した



